

2021年1月5日

プレスリリース



関係各位

## 2021年 会長・社長 年頭挨拶

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX 東京都千代田区)は、1月5日に新年祝賀式を開き、代表取締役会長・後藤亘、代表取締役社長・伊達寛が、社員に向けてそれぞれ次のように挨拶しました。

なお、今年の新年祝賀式は新型コロナウイルス感染予防のため、社員はライブストリーミングによる参加となりました。

【挨拶】後藤 亘 代表取締役会長

「心揺さぶる“カルチャー・コンテンツ”を創出し新時代に対応」

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症のため、世界経済が混乱した一年でありました。そういう時代ではありますが、前向きに捉えていきたいと思えます。この時代の流れは放送メディアの価値を改めて示しながら、信頼のおけるコンテンツを提供するよいチャンスだと考えます。カルチャーの時代がやって来つつある今、メディアとして時代にふさわしいコンテンツ開発をしなければなりません。

デジタル技術の発展は、メディア市場の構造変化をもたらしていますが、同時に人口知能、いわゆるAIの進化は、私たち人間の役割自体も変えようとしています。しかし、どれだけAIが進化をしたところで、“人間の心”、“感性”までを司ることはできず、その有り様は永遠に変わらないと思えます。

こういう時代であればこそ、「人の心を揺さぶる“カルチャー・コンテンツ”の創造」が大切であり、私たちメディアのこれからの在り方を教えてくれていると思えます。日本が経済中心で旗を振っていた時代から、これからはこれまでとは違う旗振りが必要になります。長い歴史のある日本の文化をどう捉え、どう表現していくのかが当社に課せられたテーマだと思えます。これからはカルチャーの時代で、それによって世界における日本の存在感を示していくことになります。コンテンツの開発、創造に皆さんと全力投球していきたいと思えます。

「コンテンツ第一主義」でビジネスを展開し、コンテンツ創造のイニシアチブを取りながら、よいビジネスを拡大してほしいと思えます。よりよい質の向上のために、知力・体力を活かして、仕事の喜びを一層深めてほしいと思えます。

技術・管理部門にも、コンテンツ開発の提案を行いながら、明日への夢に向けて、楽しみながら知恵の開発を願いたいと思えます。

この従来の価値観が大きく変化し、視聴者の求めるコンテンツが変化する時代に、皆さんと一緒に、いち早く先取りして挑戦していきたいと思えます。

【挨拶】伊達 寛 代表取締役社長

「厳しいがゆえに、楽しいチャレンジを」

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新体制で臨んだ年でしたが、折しもコロナ禍という世界的に未体験の逆境の年となりました。しかし、この逆境の試練は、時代・地球が抱える様々な問題をあぶり出しました。当社においても、広くは「放送事業全体の課題」、そして「当社固有の課題」に改めて直面しました。2021年は言葉だけの「激動の放送界」から、真に「変革と創造」に舵を切らざるを得ない一年となるでしょう。当社にとっては、心躍る、楽しみな一年になると思います。厳しいがゆえに、楽しいチャレンジができる、そんな一年にしたいと思います。

在宅時間が増えて、私も動画配信で海外ドラマ等を見る機会が増えました。中でも、Netflixで見た「エミリー、パリに行く」やジョージ・クルーニーの「ミッドナイト・スカイ」は大変面白い作品でした。以前、総務省で局長と話をした時に、動画配信プラットフォームを持つ国が、日本人の属性データを掌握してしまうことに危機感を示していましたが、それ程のパワーを感じました。

個々の作品では適わないかもしれませんが、当社は東京の人々にもっと身近で、必要で、かつ強い味方である存在になればどうでしょう。そういう意味で、昨年来「キー局がやらないオリジナルコンテンツを出し続け、東京の人のために汗をかくこと」をテーマに様々な活動を展開し、成果も出し、評価も得て来ました。今年は、これを一步前進させ、全社員がクリエイターになってほしいと思います。

全社横断で、自分の領域を超えてクリエイティブ集団になり、ひとつひとつの番組ばかりでなく、MXトータルの価値を対外的に発信していく2021年にするべきだと感じています。以前「コンテンツをテレビから解放せよ」と話しましたが、コンテンツをテレビの中に留めることなく、自らの行動を通じて、様々なプラットフォームに発信してほしいと思います。そういう思いを込め、2021年には若い社員を中心にコンテンツを開発する「チャレンジ枠」をタイムテーブルに設定します。セクションを超えて、挑戦してください。

以上

本件に関するお問い合わせ  
TOKYO MX 編成局 編成部